

GS-600 (BK / KH / SL)

HOME&CAMPバーナー ブラック/カーキ/シルバー

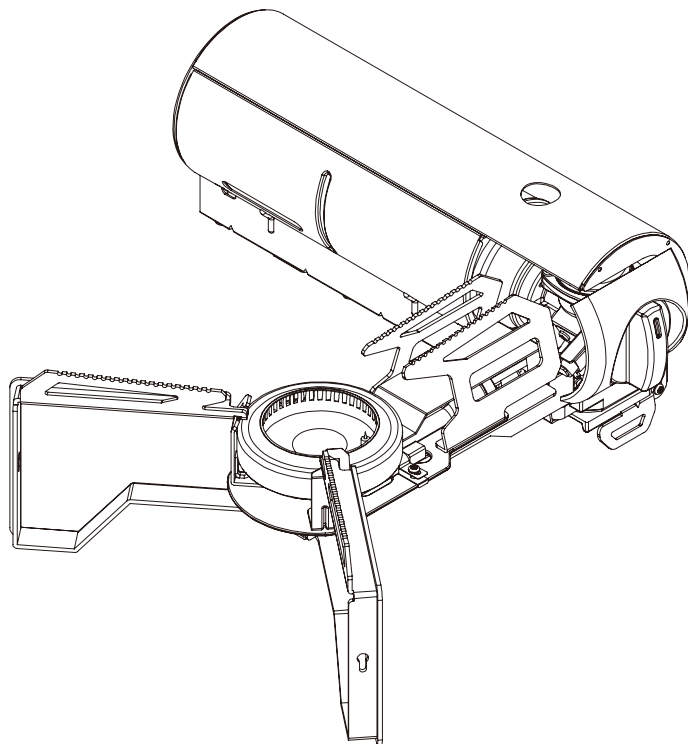
取扱説明書 Ver 1.12



この度は、スノーピーク製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。この製品は調理用の組込み型カートリッジガスこんろです。過酷な使い方、特殊なご使用をされますと、けがや火災など思わぬ事故の原因となります。安全にご使用いただくためにも必ず取扱説明書(本書)をよく読んでからご使用ください。また、読み終わった後も大切に保管してください。説明内容で理解出来ない点及び製品に不具合が確認された際には直ちに使用を中止しご購入いただきました販売店様もしくは弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。

目次

- ・セット内容/各部名称、安全機構について、スペック…1
- ・特に注意して頂きたい事…2～5
- ・使用方法…6～9
- ・日常の点検/手入れ、故障/異常時の処置…10～11
- ・品質保証について…11



スノーピークの燃焼器具は全数燃焼テストを実施して出荷しております。燃焼テストによりゴトクやバーナーヘッドなどが若干変色していますがご了承ください。

本製品は車内、テント等の狭い空間で使用しないでください。一酸化炭素中毒死や酸欠により窒息死の恐れがあります。また、屋外であっても狭い空間では換気にご注意ください。使用中または使用直後は器具が熱くなっていますので火傷には十分注意してください。また、お子様が手を触れないようにご注意ください。

ご使用の前に、本誌をよく読んで予測される事故を回避し安全にご使用ください。

本取扱説明書における警告と注意について



危険

明らかに生命に関わる重大な事故が予測される行為を示します。



警告

取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重症を負う可能性があることを示します。



注意

取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険、及び物的損害の発生が想定されることを示します。

絵表示には以下のような意味があります。



一般的な危険・警告・注意



一般的な禁止



必ず行う



火気禁止



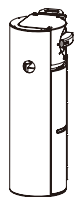
接触禁止



分解禁止

セット内容/各部名称

【セット内容】

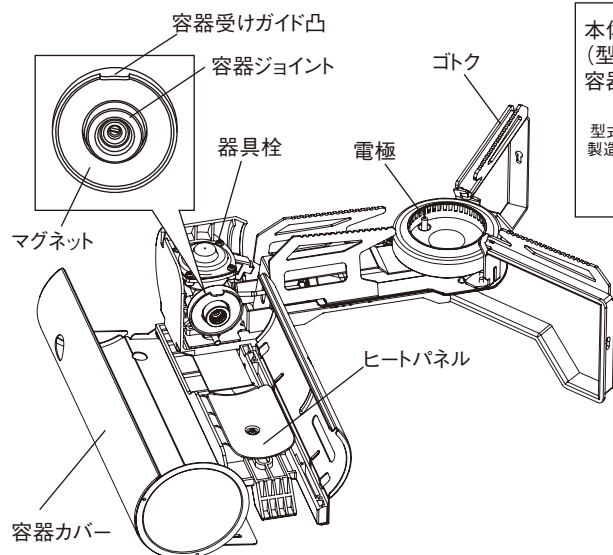


・本体

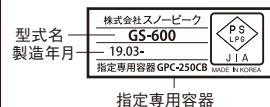


・取扱説明書(本書)

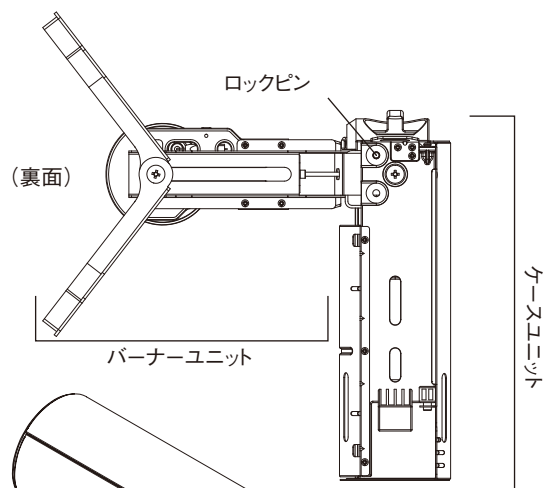
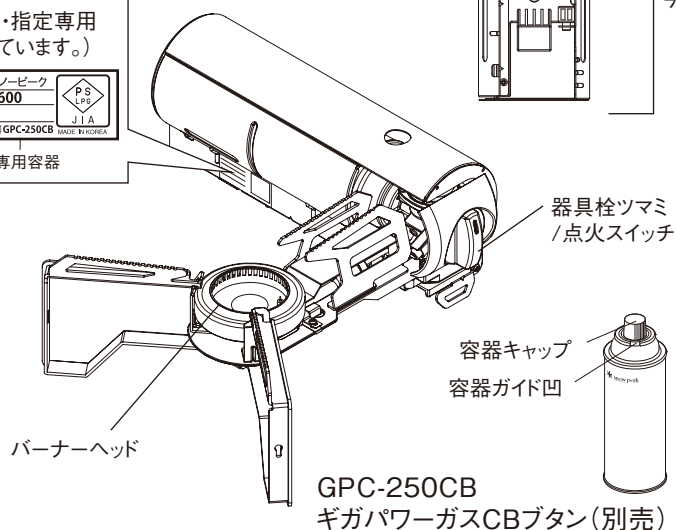
【各部名称】



本体銘板
(型番・製造年月・指定専用
容器が記載されています。)



指定専用容器



安全機構について

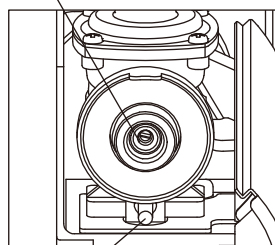
【圧力感知安全装置】

容器(ボンベ)が加熱され容器内の圧力が異常に上昇したときに、自動的に容器(ボンベ)が分離してガスの供給を遮断することで消火する装置です。

【容器装着安全装置】

器具栓ツマミが「0」になっていないと、容器(ボンベ)が装着できない安全装置となっています。

圧力感知安全装置



容器装着安全装置

圧力感知安全装置が作動した時の処置

この装置が作動した時は、本体・容器(ボンベ)が熱くなっています。火傷に十分注意して以下の処置を行ってください。

- ①器具栓ツマミを「0」の位置に戻してください。
- ②容器(ボンベ)を本体から取り出してください。
- ③P2～5の「特に注意して頂きたいこと」・P7「容器(ボンベ)の取り付け方法」をよく読んで、原因を取り除いてください。
- ④P7「容器(ボンベ)の取り付け方法」をよく読んで、新しい容器(ボンベ)をセットしてください。新しい容器(ボンベ)が無い場合は、外した容器(ボンベ)をよく冷やしてからセットしてください。十分に冷えていないと、再び容器(ボンベ)が外れる事があります。
- ⑤点火し、正常に燃烧している事を確認してください。

スペック

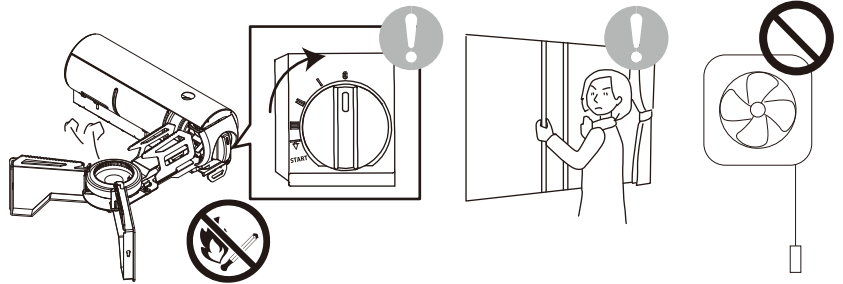
品 名	カセットこんろ(組込み式)
型式 (品番)	GS-600(GS-600 BK / KH / SL)
外 形 寸 法	301×346×120mm(使用時)/90×120×255mm(収納時)
重 量	1.4kg
使用ガス	ブタンガス
出力(ガス消費量)	2.4kw (2100kcal/h 178g/h) 〈気温20~25℃〉
連続燃焼時間	約110分
専用容器 (ボンベ)	GPC-250CB
使用できる鍋の大きさ	最小Φ14cm～最大Φ30cm

⚠ 危険:ガス事故防止のために

ガス漏れに気が付いたらすぐに消火してください。

ガスが漏れるとガスのニオイ(腐った玉ねぎのようなニオイ)がします。ブタンガスは空気より重いので下部にたまりますので、電気製品のスイッチを入れたり火気の使用をしないで、すぐに次の処置を行ってください。引火による爆発の恐れがあります。

- ①直ちに器具栓ツマミを「0」の位置にして、火を止める。
- ②容器(ボンベ)を外す。
- ③窓や戸を開けて漏れたガスを外に出す。
※換気扇は使用しないでください。電気によって引火し爆発する恐れがあります。



⚠ 警告 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重症を負う可能性があることを示します。

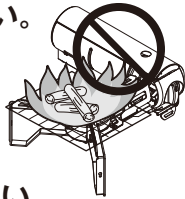
使用容器(ボンベ)とその取扱についてのご注意

容器(ボンベ)の過熱注意

次のような使い方は厳禁です!容器(ボンベ)が加熱し、爆発の原因となりますので絶対にしないでください。

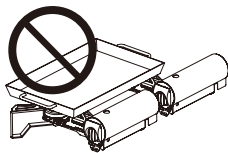
本製品で炭の火起しは絶対にしない。

■理由■容器(ボンベ)が異常加熱し、容器(ボンベ)の内圧が急激に上昇し、爆発の危険があります。



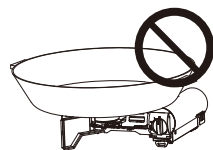
こんろを2台以上ならべて使用しない。

■理由■大きな鍋や鉄板などで複数の燃焼器具を使用するとお互いの炎で容器(ボンベ)が異常加熱し、容器(ボンベ)の内圧が急激に上昇し、爆発の危険があります。



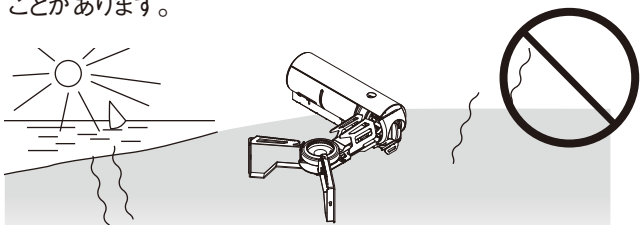
容器カバーを覆うような大きな調理器具を使用しない。

■理由■容器(ボンベ)が異常加熱し、容器(ボンベ)の内圧が急激に上昇し、爆発の危険があります。



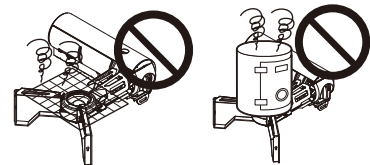
40度以上の砂浜や川原の石の上、金属面、舗装路面上では、使用および放置保管をしない。

■理由■直射日光を受けた砂浜や川原の石、金属面、舗装路面上は外気温より高温になっています。その上に容器(ボンベ)を放置したり、本製品を使用すると容器(ボンベ)が過熱され内圧が急激に上昇し異常燃焼をしたり爆発することがあります。



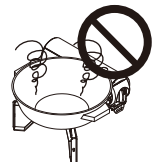
ダッチオーブンなどの鑄鉄製品、セラミック付き焼き網、石板、陶板、セラミックを使用した焼肉器、貝殻、燻製器など輻射熱の強い調理器具等は絶対に使用しない。また、アルミホイルなどでゴトクや焼き網などを覆って使用しない。

■理由■鑄鉄やセラミックなどの素材や、燻製器などの調理方法は輻射熱が強く、予期せず容器(ボンベ)が異常加熱し、容器(ボンベ)の内圧が急激に上昇し爆発する危険があります。



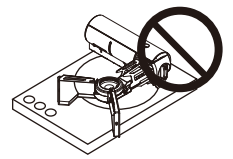
調理器具の空焚きは絶対にしない。

■理由■容器(ボンベ)が異常加熱し、容器(ボンベ)の内圧が急激に上昇し、爆発の危険があります。



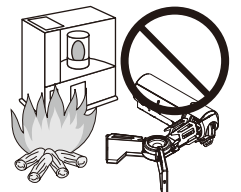
他の熱源(電気こんろ、魚焼きグリルの排気口、電磁調理器など)の上で使用や保管をしないでください。

■理由■不意に電源が入ると容器(ボンベ)が異常加熱し、爆発の危険があります。



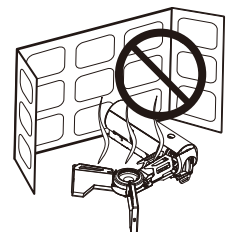
ヒーターや焚火など、他の熱源があるところでは使用しない。

■理由■容器(ボンベ)が異常加熱し、容器(ボンベ)の内圧が急激に上昇し、爆発の危険があります。



風防や天ぶらガード、石などで本製品を囲まない。

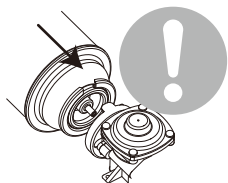
■理由■風防や天ぶらガード、石などで囲むと容器(容器)が異常に熱を吸収してしまいます。その上にナベなどをのせるとフタをしてしまう形になり異常に温度が上昇して爆発の危険がありますので絶対にしないでください。



容器(ボンベ)の取扱いについて

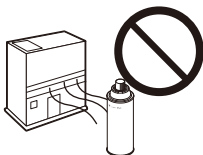
容器(ボンベ)は切欠きを上にして正しくセットする。

■理由■容器を正しくセットしないと、ガス漏れが発生し火災の原因となります。



容器(ボンベ)を熱気の当たる所に放置しない。

■理由■ファンヒーターや焚火など熱気の当たる場所に放置すると熱で容器(ボンベ)の内圧が上がり爆発の危険があります。



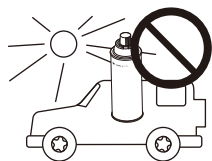
容器(ボンベ)は火の中に投じない。

■理由■たとえ空になった容器(ボンベ)でも、微量のガスが残っています。火の中に投げると内圧が上昇し爆発します。



容器(ボンベ)は火気や直射日光(室内や車内の窓際など)を避けて風通しの良い40℃以下の場所で保管する。

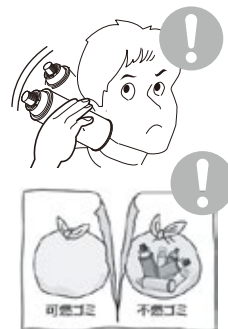
■理由■容器(ボンベ)の内圧が上がり爆発する危険があります。また、湿気の多い場所に保管するとサビなどが発生する原因となります。サビが発生した場合は、ガス漏れが無い事を必ず確認して、なるべく早くご使用ください。使用後は容器(ボンベ)を取り外して、キャップをはめてから保管してください。



容器(ボンベ)は完全に使い切ってから廃棄する。

容器(ボンベ)を振ってサラサラと音のする場合は、まだガスが残っています。湯を沸かすなどして使い切ってください。

■理由■使用済みの容器(ボンベ)は必ず完全に使い切ってから地域の取り決めに従って分別廃棄してください。容器(ボンベ)にガスが残っていると清掃車の火災などの危険があります。



容器(ボンベ)の再充填は絶対にしない。

■理由■容器(ボンベ)は繰返し充填するように設計されていません。絶対にしないでください。

容器(ボンベ)のガスを故意に吸い込まない。

■理由■故意にガスを吸い込むと酸欠のため窒息死します。絶対にしないでください。



火災予防のために

火をつけたまま、そばを離れない。

■理由■使用中は立消えや延焼などの危険性があり、火災などの思わぬ事故が原因となります。火が消えていないか時々確認してください。外出や就寝の際には必ず消火してください。一時的な用事であっても、離れる場合は必ず火を消してください。



使用時は近くに予備の容器(ボンベ)やヘアスプレー、可燃性の液体を放置しない。

■理由■使用中に燃えやすいものや予備の容器(ボンベ)、ヘアスプレーなどを置くと、熱を受けて引火や爆発の恐れがあります。



ヘアスプレーなど引火の恐れがある物を近くで使用しない。

■理由■ヘアスプレー、ガソリン、灯油などを近くで使用すると引火による爆発の恐れがあります。



絶対に改造・分解は行わない。

■理由■分解・改造は一酸化炭素中毒死やガス漏れなどの思わぬ事故や故障・火災の原因となります。修理に関しては、お買い求めの販売店または弊社ユーザーサービス係へお問い合わせください。



子供だけで使わせない。

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使用しないでください。

一度で点火しなかった場合、引火に注意する。

再点火の際は、ガスのニオイが無くなったことを確認してから行ってください。溜まったガスに引火する可能性があります。危険です。

調理用こんろに点火する前にはガスが漏れていないことを必ず確認してください。

■理由■器具栓ツマミが確実に閉じているか確認してからガス缶を取り付けてください。また、ガス缶取付け後に各接続部よりガス漏れがないことを確認してから点火してください。ガス漏れをしている状態で点火すると、異常燃焼による火傷、あるいは中毒症状になったりすることがあります。少しでも異常を感じた場合は、直ちにご使用を中止し、お買い求めの販売店または弊社ユーザーサービス係までご相談ください。ガスが漏れている状態では絶対に点火しないでください。

⚠ 警 告 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重症を負う可能性があることを示します。

ガス事故防止のために

調理以外に使用しない。

加熱や異常燃焼などによる焼損や火災などの危険があります。

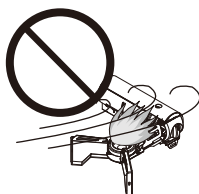
バーナーヘッド付近に顔や手を近づけない。

炎により火傷を負う恐れがあります。

使用場所について

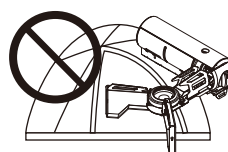
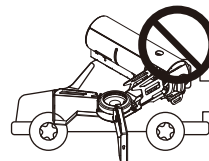
風の強い所では使用しない。

■理由■風の強い所で使用すると巻き込まれた炎によって事故や本体の焼損の原因になります。また、炎が吹き消される事があり危険です。



テントの中や車中など換気の悪い場所では絶対に使用しない。

テントの中や車内など換気の悪い場所では絶対に使用しないでください。酸欠や有毒ガスにより死亡あるいは、重篤な中毒になる恐れがあります。



水平で安定した場所に設置する。

■理由■傾斜していたり不安定な状態で使用すると、転倒し火傷や火災の危険があります。



⚠ 注 意

使用容器 (ボンベ) とその取扱いについて

本製品にはsnowpeak指定専用容器 (ボンベ) をご使用ください。また snowpeak製であっても使用できる容器 (ボンベ) が定められています。指定専用容器は次の項目をご覧ください。

■理由■他の容器 (ボンベ) を使用すると正常に作動しなかったり、ガス漏れが発生し、引火や火災あるいは異常燃焼を起こすことがあります。

指定専用容器 (ボンベ)

GPC-250CB
ギガパワーガスCBボタン (銀色)



容器 (ボンベ) に強い衝撃を与えない。

■理由■落下による衝撃などで破損やガス漏れによる引火の恐れがあります。



容器 (ボンベ) は航空機に持ち込めません。

■理由■法律により、容器 (ボンベ) は航空機に持ち込めません。



変形のある容器 (ボンベ) は使用しない。

■理由■ガス漏れの原因となります。

火災予防のために

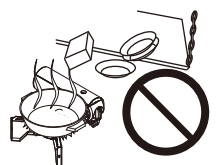
カーテンなどが触れる場所や燃えやすい物、熱に弱い物のそばで使用しない。

■理由■引火による火災の恐れがあります。



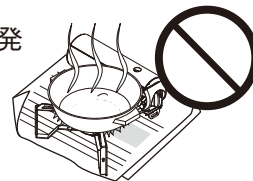
棚の下など、落下物の危険がある場所では使用しない。

■理由■引火や転倒による火災や爆発の恐れがあります。



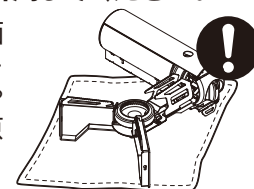
本製品の下に燃えやすい物や熱に弱い物 (段ボール紙、ビニールクロス、テーブルクロス、畳など) を敷いたり、通気のさまたげになる物を置かない。

■理由■引火による火災や、爆発の恐れがあります。



熱に弱いテーブルや床で使用する時は、別売のバーナーシート (不燃性の断熱材) と併用してください。

■理由■本製品の使用中は、床面が熱くなります。特に木製のテーブルや床などは熱の影響を受けやすく、天板が焦げたり変色する原因となります。



バーナーシート (不燃材)
〔別売〕GP-006R

タタミ、ジュウタンなど特に熱に弱い物の上では使用しない。

■理由■タタミやジュウタンなど特に熱に弱い物はバーナーシート (不燃性の断熱材) と併用していても変形や変色する場合がありますので、使用しないでください。

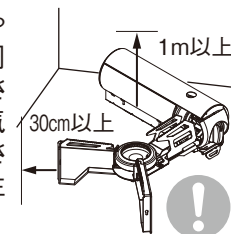
火がついたまま傾けたり、持ち運ばない。

■理由■接触や転倒により火傷を負う危険があります。



防火上必要な距離をとって設置する。

■理由■使用する際には、家具や壁 (木造建築) などの可燃物から周囲30cm以上離して使用してください。本製品の上方と天井、棚、電気機器などの間は1m以上離してください。特に熱は上に向かいますので注意してください。

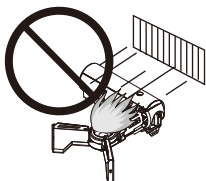


△ 注 意 取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険、及び物的損害の発生が想定されることを示します。

使用場所について

風の吹きこむ場所や、吸い込む場所では使用しない。

■理由■風により炎が立ち消えた場合、室内にガスが充満する危険があります。また、風によって巻き込まれた炎によりテーブルや本体を焦がす恐れがあります。



底部から空気や煙を吸い込む場所(無煙ロースター付きテーブル等)では使用しない。

■理由■異常燃焼の原因となり、本体やテーブルを焦がす恐れがあります。無煙ロースターは使用してなくても空気を吸い込んでいる場合があります。

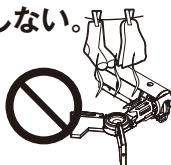
使用上の注意

調理以外の用途で使用厳禁。

■理由■調理以外の使用は、火災や火傷、酸欠など思わぬ事故につながる場合があります。

衣類の乾燥やストーブがわりに使用しない。

■理由■暖房のかわりや衣類の乾燥にしようしないでください。衣類が落下して火災の原因となります。



やけどに注意。

使用中及び使用直後の本製品は高温になっています。消火した後もしばらくは、器具栓ツマミ以外ふれないでください。



補助具、応用機器を使用しない。

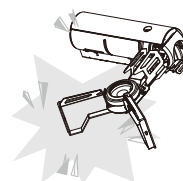
■理由■適合が確認されていない補助具や応用機器との併用は、予期せぬ事故の原因となります。

異常時の処置

万一異常音、異常臭、赤火などを起こした時や緊急の場合は、あわてず器具栓ツマミを「0」にして消火し、容器(ボンベ)を本体から取り外して本書最終ページの「故障・異常の見分けたと処置の仕方」を参照し、指示に従ってください。

本体を落下させたり、強い衝撃が加わった時は使用を中止する。

■理由■外観に問題がない場合でも、内部の機構が壊れている可能性があります。外観に問題がない場合でも、販売店または弊社ユーザーサービスまで点検を依頼してください。



容器(ボンベ)を無理に取り付けたり、はずしたりしない。

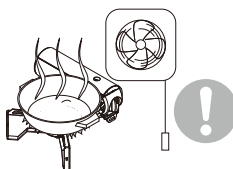
■理由■接続部が破損します。

お願い

使用上の注意

換気に注意してください。

使用中は、窓を開けるか換気扇を回すなど、ときどき換気をしてください。



使用容器(ボンベ)とその取扱いについて

容器(ボンベ)に表示してある表示事項をよく読んでからご使用ください。

■理由■容器(ボンベ)には、必ず守って頂きたい事項が記載されています。ご確認の上、ご使用ください。

容器(ボンベ)は使用前に必ず点検、保管してある容器(ボンベ)も時々点検してください。

■理由■外観のキズやヘコミなどの異常があるとガス漏れなどの危険がありますので、使わないでください。サビがある場合は、ガス漏れが無い事を必ず確認してなるべく早めにご使用ください。ガス漏れがあるときは使用しないでください。また、容器(ボンベ)は製造後7年以内を目安に使用してください。(製造日は缶底に表示)

使用時の点火、使用後の消火のほか使用中も時々燃焼している事を確かめてください。

異常燃焼や、不意に炎が立ち消えているなどがないか時々確かめてください。

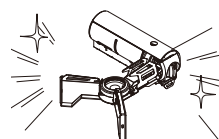
容器(ボンベ)を保管する時は必ずキャップをしてください。

■理由■思わぬ接触によるガス漏れや、接続部にゴミなどが入る事を予防する目的があります。



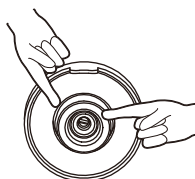
使用後は点検・清掃をして保管してください。

■理由■本製品に付着した水分やホコリ、ゴミが目づまりやサビを起こし故障の原因となります。次回問題が出ない様に点検・清掃をしてください。



容器ジョイントのOリング(消耗品)はご使用の都度点検してください。摩耗や損傷があるときは直ちに使用を中止し、ご購入いただきました販売店もしくは弊社ユーザーサービス係までご相談ください。

■理由■容器の取り付け、取り外しでOリングが摩耗します。また、ゴム製のOリングは使用しなくても劣化します。劣化したり損傷したOリングを使用するとガス漏れの原因となります。



お子様の手の届かないところに保管してください。

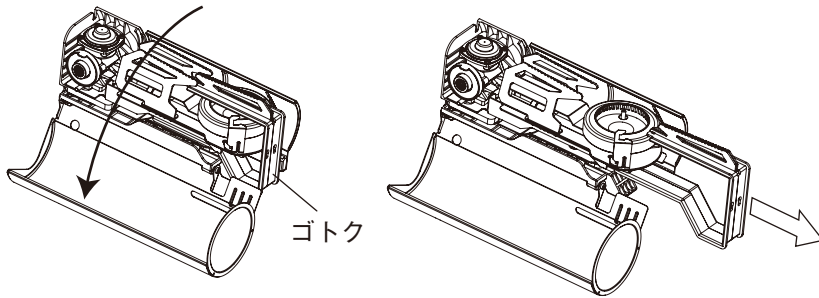
■理由■お子様に危険が及ばないように、本製品や容器(ボンベ)はお子様の手の届かないところに保管してください。



使用方法

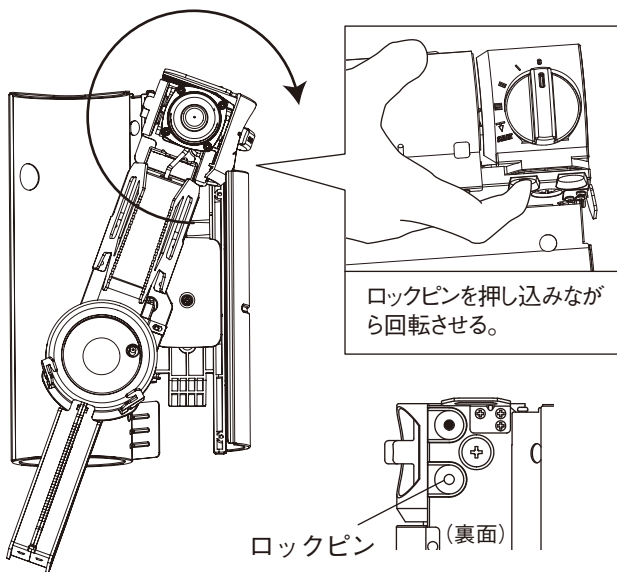
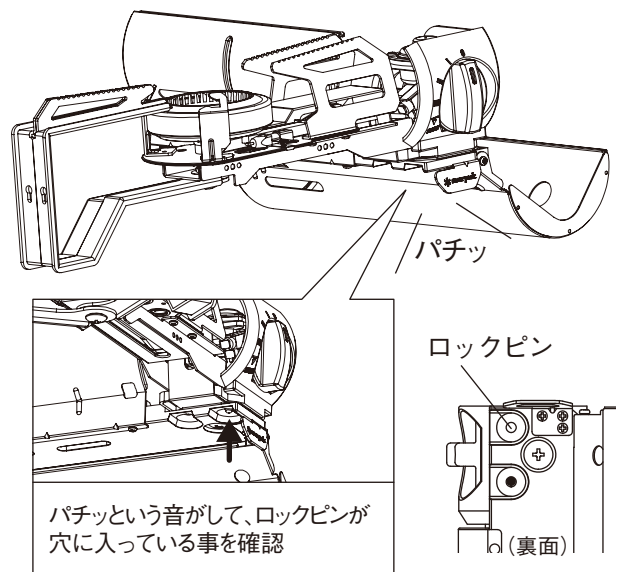
組み立て方法

1. 容器カバーを完全に開き、ゴトクを図のように矢印方向へ引き出します。

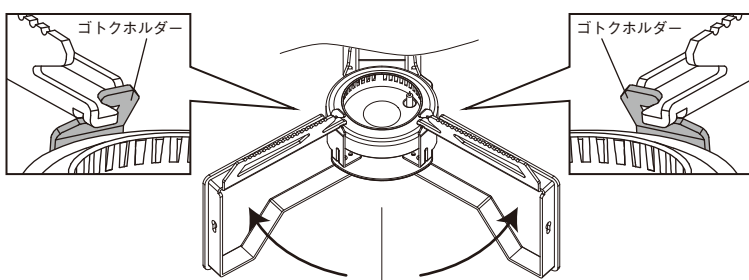
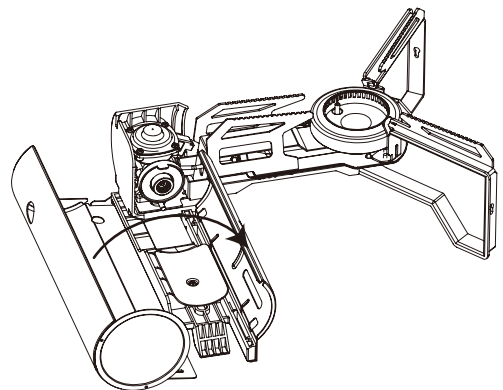
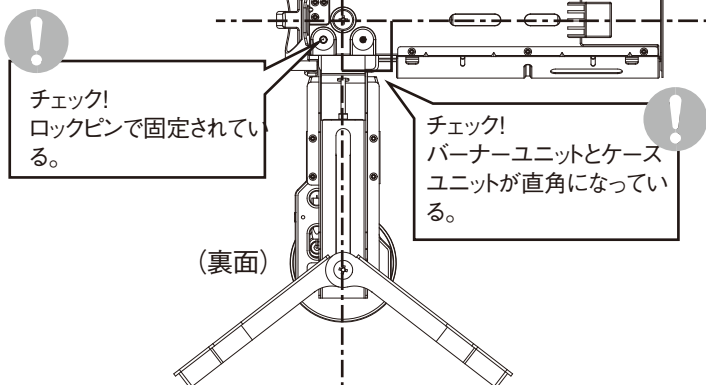


(注意) 容器カバーの開きやゴトクの引き出しが不十分だった場合、後の操作を進める事が出来ません。

2. ロックピンを押して固定を解除しながら、バーナーユニットを図の様に回転させます。270°回転すると、再びロックピンによってバーナーユニットが固定されます。



3. ゴトクを開きます。必ずゴトクがゴトクホルダーに図のように接続されている事を確認してください。その後、カバーを閉じて完成です。

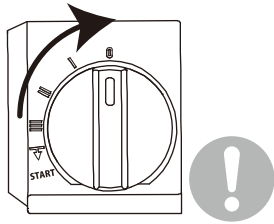


⚠ 警告

・必ずバーナーユニットとケースユニットが直角に交差し、ロックピンによって固定されている事を確認してください。バーナーユニットとケースユニットが直角の状態で固定されていないと、容器(ボンベ)が取り付けられなかったり、使用中に容器(ボンベ)と器具栓の接続部からガスが漏れて火災や火傷の危険があります。

容器（ボンベ）の取付方法

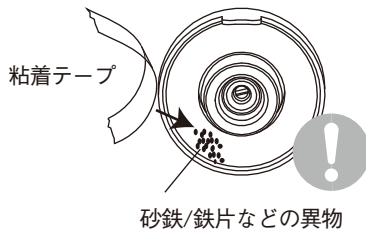
1. 器具栓ツマミが「0」の方向へ止まるまで回してある事を確認してください。



注意

注意:器具栓ツマミが「0」の位置に無いと容器装着安全装置により装着出来ません。(1 ページ参照)

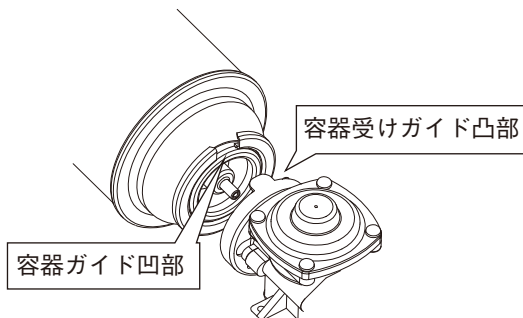
2. カバーを開き、器具栓のマグネットに異物が付着していない事を確認してください。砂鉄/鉄片が付着している場合は粘着テープを用いて完全に取り除いてください。



注意

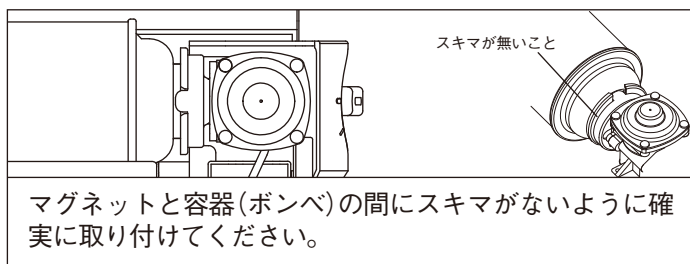
異物が付着していると、ガスが漏れたり、容器（ボンベ）が装着できなくなる場合があります。

3. 容器（ボンベ）から容器キャップを外し、ヒートパネルに容器（ボンベ）を載せます。「容器ガイド凹部」を本体の「容器受けガイド凸部」に合わせてから、図のように容器（ボンベ）を水平にスライドさせて、完全にマグネットに密着するまで押し付けて装着します。マグネットと容器（ボンベ）にスキマが無いように、確実に取り付けてください。



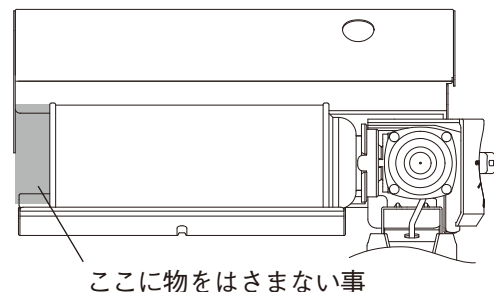
注意

容器（ボンベ）の取付け（装着力）が重い時は、左図の部分に植物油を薄く塗ってください。



警告

容器（ボンベ）の底部と本体の間に物（小石や厚紙の束など）は挟まないでください。圧力感知安全装置が働かなくなり容器（ボンベ）が爆発する恐れがあります。



4. 容器（ボンベ）が確実に装着され、「シュー」というガス漏れの音やガスの臭いが無い事を確認し、容器カバーを閉じてください。

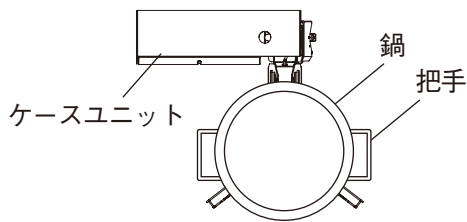
警告

- ・使用前には必ず、ガス漏れの確認、点火・消火動作に異常が無い事を確認してください。
- ・故障または破損したと思われるもの、一度でも強う衝撃が加わったものは絶対に使用しないでください。
- ・容器（ボンベ）を確実に装着しないとガス漏れによる火災などの恐れがあります。

調理器具を載せるときの注意点

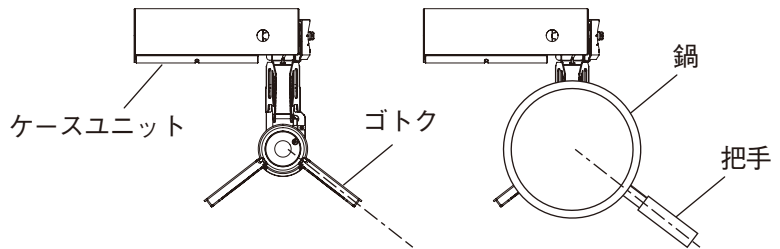
両手鍋の場合

ケースユニットと把手が重ならないよう、把手を下図の様に鍋を置いてください。



片手鍋・フライパンの場合

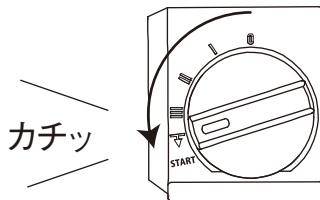
把手の重みで片手・フライパンが倒れないよう、ゴトクと把手が直線上で重なるように置いてください。また、把手がケースユニットと重ならないようにしてください。



操作の仕方

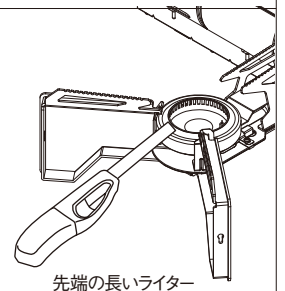
1. 点火方法

器具栓ツマミを左方向に「カチッ」と音がするまで回し、点火した事を確認してください。点火しない場合はすぐに器具栓ツマミを「0」の位置まで戻してください。



⚠ 注意

- ・点火装置は天候や標高によって点火できなくなる場合があります。必ず予備に先端の長いライター等をご用意ください。
- ・点火ミスを繰り返した場合は、ガス臭が無くなるまで換気を行ってください。点火がうまくいかない場合は図のように先端の長いライターで着火してください。



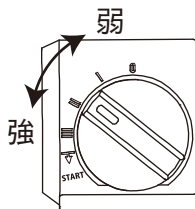
⚠ 警告

点火前に以下の事をご確認ください。

- ・容器(ボンベ)が正しくセットされていること。
- ・点火の際は、周囲に燃えやすい物が無いこと。
- ・バーナーの上部に手や体を近づけたり、バーナーを覗き込まないこと。(火傷の危険あり)

2. 火力調節

器具栓ツマミは反時計回転方向(左回転)に回すと火力が大きくなり、時計回転方向(右回転)に回すと小さくなります。器具栓ツマミはゆっくりと回してください。

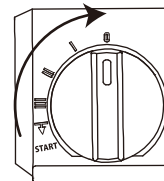


⚠ 注意

炎を小さくしすぎると風により立ち消えしやすくなりますのでご注意ください。

3. 消火方法

器具栓ツマミを「0」の方向にゆっくりと止まるまで回します。完全に火が消えたことを確認してください。

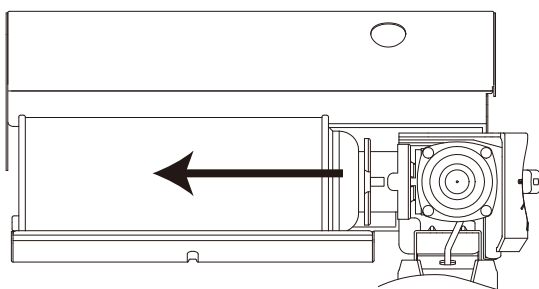


⚠ 注意

必ず火が完全に消えたことを確認してください。

容器(ボンベ)の取り外し方法

容器カバーを開け、容器(ボンベ)を持って取り付けるときと逆の方向に少し力を入れて水平方向にスライドさせ、マグネットから取り外します。外した容器(ボンベ)に容器キャップをしてください。

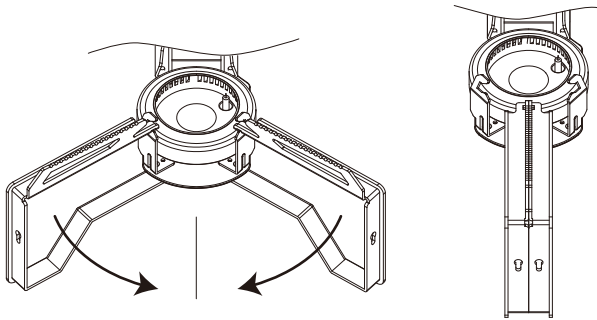


⚠ 注意

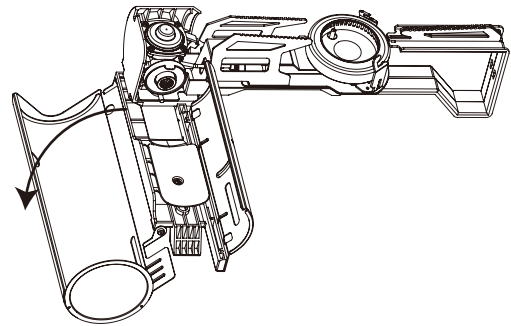
- ・消火直後は本体と容器(ボンベ)が熱くなっています。十分に冷めてから容器(ボンベ)を取り外してください。
- ・使用後は必ず容器を外してください。器具の故障やガスが漏れる恐れがあります。
- ・容器(ボンベ)を取り外した後も本体の配管や器具栓にガスが残っています。危険防止の為に一度点火して残っているガスを燃焼させてください。

収納方法

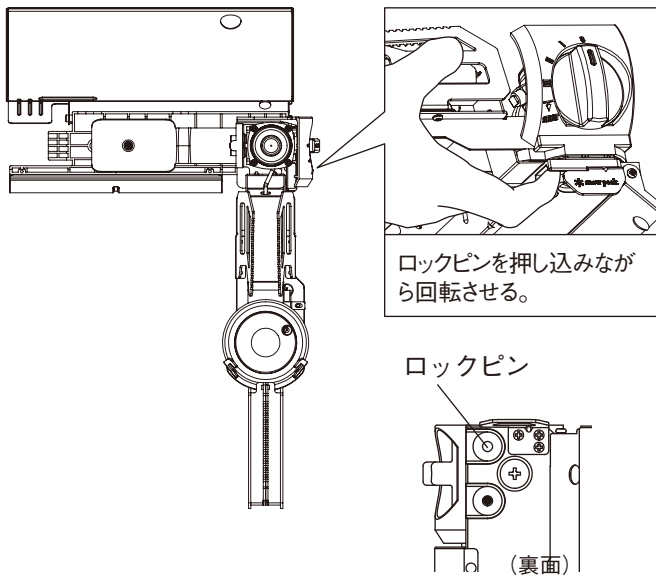
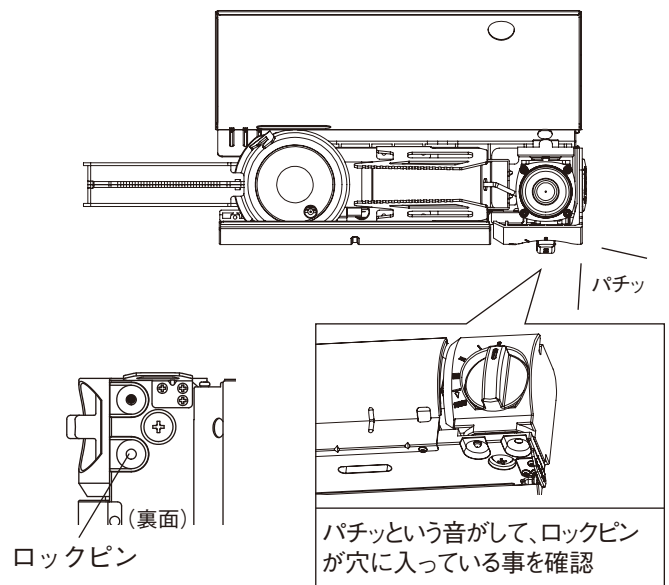
1. ゴトクを図のように畳みます。



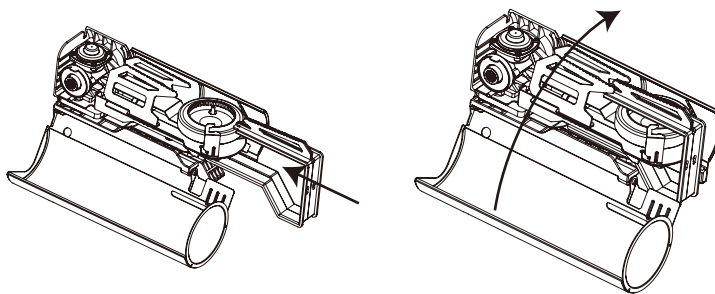
2. 容器カバーを開けてください。その際、容器(ボンベ)が本体に装着されていない事を確認してください。



3. ロックピンを押して固定を解除しながら、バーナーユニットを図の様に回転させます。バーナーユニットが収納位置まで戻ると、再びロックピンによってバーナーユニットが固定されます。

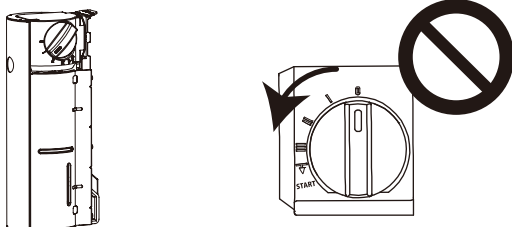


4. ゴトクを収納し、容器カバーを閉じます。



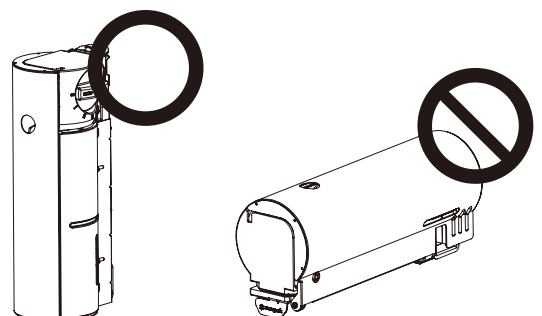
⚠ 警告

- ・使用後は製品本体が大変熱くなっています。必ず完全に冷めた状態を確認して、収納してください。
- ・収納状態で点火スイッチ(器具栓ツマミ)を使わないでください。容器(ボンベ)が無い状態でも器具栓内にガスが残っている場合があります、思わぬ事故を招く恐れがあります。



⚠ 注意

収納時は図のように縦に置いてください。横にして置くと転倒します。



日常の点検/手入れ、故障/異常時の処置

製品の機能維持及び、ガス漏れによる事故や製品の故障、性能劣化による異常を未然に防止するには、ご使用になるユーザー様のご協力が不可欠です。必ず、日常の点検と手入れを行ってください。また、使用の有無にかかわらず、古くなった製品は安全のためにご使用前にお買い求めいただいた販売店または弊社ユーザーサービス係に点検修理をご依頼ください。

点検・手入れの方法と注意点

日常の点検、手入れは必ず行ってください。

点 検	手入れ方法	注意点
煮こぼれによる汚れ	硬く絞った布で汚れを拭き取ってください。汚れが取れにくい時は中性洗剤を用いて汚れを落とした後、乾いた布で水分を取り除いてください。	水気や汚れを放置すると故障やサビの原因となりますので、内部と外部ともに常に綺麗にしてください。また、手入れの際は電極を動かさないようにしてください。
バーナーの目づまり	ブラシで綺麗に掃除をしてください。(電極を動かさないように注意してください)	不完全燃焼や炎が不均一になる原因となります。バーナーは常に綺麗にしてください。
電極の汚れ (点火しない時)	電極の汚れは、力を加えず、乾いた布で軽く拭きとってください。	点火不良の原因となります。電極が動かないように注意してください。
本体・容器(ボンベ)の汚れ	乾いた布でよく拭いてください。汚れが取れにくい時は中性洗剤を用いて汚れを落とした後、乾いた布で水分を取り除いてください。	シンナー・ベンジン・みがき粉などの使用すると表面を傷つけます。また、ナイロンたわし・金属たわしの使用も本体や容器(ボンベ)を傷つけますので、使用しないでください。

 注意	<ul style="list-style-type: none"> ・手や指の保護の為に必ず手袋などを着用してください。 ・本体の丸洗いは絶対にやめてください。ガス通路に水が入るとガスが出なくなったり錆の原因となります。 ・点検/手入れの前には必ず容器(ボンベ)を取り外してください。 ・手入れの為に分解をしないでください。 ・煮こぼれをしたときは、必ずバーナーヘッドの掃除をしてください。
---	---

このような時は故障(異常)ではありません。

本製品を使用中に次のような症状が起こりましたら故障ではありません。処置方法を参考に対処してください。

症状	原因	処置方法
点火しにくい。 急に火花が飛ばなくなった。	電極の白い部分(セラミック)に水滴が付着しているか汚れている。	水分、汚れにより漏電しています。水分、汚れを取り除くとなおります。
使用中、容器(ボンベ)がガスが残っているのに火が消えた。	異常な使用によって容器(ボンベ)の温度が高くなって「圧力感知安全装置」が働いています。	1ページの「圧力感知安全装置が作動した時の処置」に従って復帰させてください。
容器(ボンベ)が装着出来ない。装着してもすぐに外れてしまう。	保管場所の温度が高く、容器(ボンベ)の温度が高くなって「圧力感知安全装置」が働いています。	
	マグネットに異物が付着しています。	7ページの「容器(ボンベ)の取り付け方」に従って異物を取り除いてください。
	器具栓ツマミが「0」になっていない。	器具栓ツマミを「0」の方向に止まるまで戻してください。
消火時に「ポッ」という音がする。		消火時の音で異常ではありません。
電極の周りの炎が赤くなる。		炎色反応であり異常ではありません。

長期間使用しないとき

- ・本体などに汚れがなく、よく乾いているか確認してください。
- ・本体が良く冷えてから収納状態にして、風通しの良い涼しい場所で保管してください。
- ・必ず本体から容器(ボンベ)を取り除き、本体と容器(ボンベ)を別々に保管してください。
- ・本体と容器(ボンベ)は時々点検してサビなどが無いように手入れしてください。

製品の経年劣化に関する注意

- ・本製品のガスの接続にはゴム部品が使われていますが、ゴム部品は使用頻度に関わらず年月とともに劣化していきます。
- ・本製品においては、製造後、約10年を目安に買い替えをご検討いただきますようお願い申し上げます。

故障・異常の見分け方と処置の仕方

故障かな？と思ったら次の事をお調べください。

原因 \ 現象	点火しにくい	点火しない	バーナーに火移りしない	黄炎で燃える	炎が安定しない	炎が不揃い	火力が弱い	ガスの二オイがする	使用中に消火した	消火しない	容器(ボンベ)が装着できない	器具栓ツマミを「0」にしてもガスが漏れる	処置方法
他社容器(ボンベ)を使用している	●							●			●	●	専用容器を使用する
ガスが少なくなっている	●						●						新しい容器(ボンベ)に取り替える
ガスがなくなっている		●	●						●				新しい容器(ボンベ)に取り替える
電極部の汚れ・水分の付着	●	●											汚れ・水分をふきとる
バーナー炎口部の目づまり	●	●	●	●	●	●	●						目づまりを取り除く
点火操作が適切でない	●	●						●					正しい点火操作をする
ガス導管(ノズル)が詰まっている		●	●	●	●		●		●				点検修理を依頼する
器具栓ツマミの故障	●	●						●		●		●	点検修理を依頼する
圧力感知安全装置が作動している		●							●		●		1ページの「安全機構」の項に従って復帰させる
点火装置の故障		●											点検修理を依頼する
器具栓ツマミが全開でない							●		●				器具栓ツマミを全開にする
器具栓ツマミが「0」になっていない											●		器具栓ツマミを「0」にセットする
容器(ボンベ)のセット不良		●						●			●	●	容器(ボンベ)を正しくセットする
マグネットに鉄片・鉄粉が付着											●		粘着テープで鉄片・鉄粉を取り除く
本体が変形している(歪み)											●		点検修理を依頼する

品質保証について

お買い求めいただきました製品は万全を期してありますが、万一不備な点がございましたら、お買い求めの販売店様または弊社にご相談ください。製品上の欠陥が原因の場合は無償で修理または交換させていただきます。その他の場合は適切な価格で修理させていただきます。修理、交換の判断は、弊社の裁量によるものとさせていただきます。また、以下の場合には修理できない場合もありますので、予めご了承ください。

- 1.取扱説明書に従わなかったと判断した場合。
- 2.素材の経年劣化による製品の寿命。
- 3.改造及び粗雑な扱いによる製品の故障。
- 4.不測の事故による製品の故障。
- 5.その他製造上の欠陥以外による製品の故障。
- 6.ゴミやサビによる故障。
- 7.分解したことによる不具合の発生または破損。
- 8.落下やその他の衝撃による部品の変形や破損による不具合。
- 9.消耗品の劣化、破損、故障及び付随する不具合。
- 10.他社製品との組合せによる故障。

不明な点やお気付きの点がございましたら、販売店様または弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。

スノーピークユーザーサービス

 **0120-010-660** (9:00~17:00)

Email: userservice@snowpeak.co.jp

株式会社スノーピーク

〒955-0147 新潟県三条市中野原456

Tel. 0256-46-5858 / Fax. 0256-46-5860

www.snowpeak.co.jp

MADE IN KOREA